

ちびっこ チャンピオン

「うさぎさんと お月見パーティー」

みよし保育園のなかよしたち

(左から)

やなぎだ り ゆ うくん (6さい)
たけうち さ えさん (6さい)
たばた ゆ ず きくん (5さい)
しまだ やま とくん (6さい)
いした あか ねさん (5さい)

このコーナーでは、元気いっぱい
な園児達の作品をご紹介します。



深浦町の花



■ 福寿草 ■

深浦町の木



■ 樺 ■

深浦町の鳥



■ カモメ ■



このコーナーでは誕生日を迎えた
ちびっこ達をご紹介します



しゅんすけ
柳沢 俊介くん
(北金3区)R 2/9/17生
「イヤイヤマンだけど
かわいいよ♥」



りく
佐藤 璃空ちゃん
(岩崎下)R 3/9/18生
「ががまのプリンセス♡
お兄ちゃんと仲良くね。」

草創教育長の 「今月の一枚」

文武両道

仙台育英が甲子園で東北勢初優勝、悲願の「白河の関越え」を果たしたニュースが入ってきました。

それで思い出しました。決勝相手の下関国際高を率いる坂原監督は、超スバルタで有名。数年前に「文武両道」という言葉が大嫌いな」と過激な発言をした方でした。

「文」は勉強、「武」はスポーツ。廃部寸前の野球部をたて直すには「武」を優先せざるを得ない切実な状況があったのだらうと記憶しています。

私は「大嫌い」と言う程ではありませんが、「文武両道」はあくまで理想の形、両立はソコソコでいいと考えます。

確かに、勉強もスポーツもレベルが高い子は、数の中にはいません。でも、皆がそうではありません。藤井聡太棋士と大谷翔平選手が合体したような人がゴロゴロいますか？ 三刀流？ 四刀流？

「武」は運動・スポーツというところ方も、固すぎます。健康やたくましさ、根気や気力、しなやかさ等の精神的な意味合いも含めた方がよほど柔軟です。勉強し続けるためには、健康や根気強さが必要です。「文」を支えるのが「武」です。健康を守るには、知恵が必要です。「武」をりりしく保つた

めの「文」です。

「文」も「武」も互いを支え合うために必要なのだ。そう考えた方が、私はすっきりします。でも、世の親は欲ばりです。「文」でも結果出せ、「武」でも活躍しろ。おまえは天才だ！

有名になれる！特にスポーツは、勉強より結果や成長が目に見えてわかりやすい分、親も熱狂しやすい。いろいろなバカ親を見てきました。洗濯から道具準備まで世話を焼き過ぎる親、わが子を試合に出せと迫る親、監督の指導や采配まで口出す親、指導陣と醜い争いをくり返し別チームを作る親、試合相手を口汚くののしって審判から注意される親…。

スポーツを通して子どもを成長させたいのか、頭からすっかりぶつ飛んだバカ親のナレの果てです。本末転倒、おまえらはむしろ子ども「武」の邪魔をしている！坂原監督なら、そう叱り飛ばしてくれそうです。

あ、絵の紹介、忘れてました。仙台育英が越えた「白河の関」すぐ近くの白河小峰城の絵です。絵が全くのつけたしでごめんなさい。

(教育長 草創 文人)

